

事務事業評価シート(平成25年度実績分)

(1) 事務事業の名称・位置づけ [Plan1]

白色のセルのみ入力してください。(コメントを見ながら入力)

事務事業コード	事務事業名	担当課	担当係名	所属長(課長等)名	担当係長名
23222	医療費適正化事業	住民税務課	国保医療係	向山 光	赤羽 幸恵
		一次評価年月日	平成 26 年 5 月 30 日	連絡先(内線)	2103
事務事業実施の根拠・位置づけ	予算における位置づけ(会計区分・事業コード・事業名)	会計区分		予算コード	事業名(歳出予算見積書)
		<input type="checkbox"/> 一般 <input checked="" type="checkbox"/> 特別	5007	一般被保険者療養給付費	
	第五次総合計画前期基本計画の施策体系における位置づけ	章	(コード選択)	2章	支え合いとやすらぎのまちづくり
		節	(コード選択)	3節	健やかな暮らしを守る社会保障の充実
		項[基本施策]	(コード選択)	2項	国民健康保険の健全運営
		目[主な施策]	(コード選択)	2目	医療費の抑制
関連する計画等への位置づけ	<input checked="" type="checkbox"/> 第五次行政改革大綱	<input type="checkbox"/> 3ヶ年実施計画	<input type="checkbox"/> 主要業務報告	<input type="checkbox"/> その他	
事務期間	(開始) S34 年度 ~ (終了予定) 年度	<input type="checkbox"/> 開始時期不明	<input checked="" type="checkbox"/> 終期設定なし		

(2) 事務事業の内容(目的と手段を把握します。) [Plan2]

①対象(誰のために).....この事務事業はどんな人(誰・何)を対象に行っていますか。

国民健康保険加入者

②目的(意図)(どんな状態にしたいか).....この事業を実施することにより、対象をどういう状態にしたいのですか。

医療制度を堅持し、安心して医療を受けられる体制をつくる

③手段(事業内容)(どうやって).....上記①の対象に対して、どのような手段で②の目的(意図)を達成するか、実施した行政活動(対象に対する働きかけ)を記入します。

1	不必要な受診を抑制するために医療費通知を発送
2	ジェネリック医薬品の利用促進を図るために差額通知を発送
3	ジェネリック医薬品の利用促進のジェネリック希望カード・シールを配布
4	

(3) 活動指標の設定と推移.....(2)の③サービスの概要(手段)の指標を表します。 [Do1]

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度	
		24年度	25年度	27年度(見込み)	達成率	27年度(見込み)	年度(見込み)
① 指標名	医療費適正化事業通知の発送	月分	6	6	6	1.00	6
① 説明	加入者に受診記録やかかった医療費を確認してもらい、多受診、頻回受診等の抑制を促す(H24より2ヶ月分ずつ3回送付に変更)	算出方法・計算式・目標値設定の考え方等	国保連合会に委託して作成				
② 指標名	国保証発行時にパンフレット及びジェネリック希望カードを配布	回	1	1	1	1.00	1
② 説明	国保制度や医療費のしくみ、ジェネリックへの切替等	算出方法・計算式・目標値設定の考え方等	年1回の国保証切替時に実施、新規取得者には窓口にて交付				

(4) 成果指標の設定と推移.....(2)の②目標(意図)の達成度を指標で表します。 [Do2]

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度	
		24年度	25年度	27年度(見込み)	達成率	27年度(見込み)	年度(見込み)
① 指標名	国保一人当たりの医療費	円	325,364	329,606	300,000	0.91	300,000
① 説明	県内国保保険者別医療費	算出方法・計算式・目標値設定の考え方等	一人当たりの医療費の推移を見る(H24年度の数値より減額目標)				
② 指標名	国民健康保険給付費	千円	1,521,554	1,487,228	1,450,000	0.97	1,450,000
② 説明	保険給付費	算出方法・計算式・目標値設定の考え方等	H24年度の数値より減額目標				

(5) 総事業費(コスト)の推移 [Do3]

※事業費の算定方法 決算書・予算書等に記載の数字 按分計算による算定

○総事業費(コスト概算) =①+② (千円)	平成23年度決算	平成24年度決算	平成25年度決算	平成26年度見込み	
	1,508,718	1,526,722	1,493,229	1,521,024	
対前年比 %		101.2	97.8	101.9	
A)その他の財源(国庫支出金・県支出金・地方債・分担金・使用料・雑収入など)	1,065,917	1,089,432	1,036,514	1,079,301	
B)一般財源(税金)	442,801	437,290	456,715	441,723	
①事業費 (千円)	1,500,607	1,521,554	1,487,228	1,515,060	
対前年比 %		101.4	97.7	101.9	
②人件費の概算 (千円)	8,111	5,168	6,001	5,964	
対前年比 %		63.7	116.1	99.4	
	課長	課長補佐	係長	一般職員	延べ人数
	H24 H25 H26	H24 H25 H26	H24 H25 H26	H24 H25 H26	H24 H25 H26
町職員(正規職員)	0.02 0.02 0.02	0.00 0.00 0.00	0.10 0.10 0.10	0.00 0.33 0.33	0.62 0.76 0.76
臨時職員	人数及び人件費の算出は別シートで計算となっています。(人件費計算シート)				
	0.75 0.89 0.89	0.75 0.89 0.89	0.75 0.89 0.89	0.75 0.89 0.89	0.75 0.89 0.89
	8,111	4,697	5,521	5,484	
	0	471	480	480	

指標化

(6) 項目別評価 [Check]

視点	項目別評価	判定	評価結果	
妥当性	1. 事業に対する町民のニーズに変化はありますか	A	A 増加傾向にある C 減少傾向にある	B 変化していない D かなり減少している 住民ニーズの具体的な把握方法をお書きください ジェネリック医薬品に対するアンケート実施・柔道整復師の受診に関する調査を実施
	2. 国・県・民間との役割分担から、町が事業を実施する必要がありますか	A	A 町が主体となる必要がある C 町も関与するが関与の度合いを縮小できる	B 町以外の主体で実施できるが町の関与は必要 D 必要性がない
	3. 対象(受益者)の設定は妥当ですか	A	A 対象は現在の設定が妥当である B 対象の変更の余地がある	Bの場合、その具体的な内容をお書きください
	4. 目的(意図)の設定は妥当ですか	A	A 目的(意図)は明確で上位の施策に合致している B 目的(意図)は上位の施策に合致していない点がある	Bの場合、その具体的な内容をお書きください
有効性	5. 期待された成果は得られましたか(成果指標の目標値への達成度)	B	A 期待したとおりの成果があった B 概ね期待したとおりの成果があった C 期待したほどの成果が得られなかった D 成果が少なく今後も向上する見込みがない	C・Dの場合、その具体的な内容をお書きください
効率性	6. 連携可能な事務事業はありますか(町以外の取り組みも含めて)	A	A すでに実施している B 今後は可能性がある C 今後も可能性はない	A・Bの場合、その具体的な内容をお書きください 保険事業等
	7. 成果を下げずにコスト(事業費・人件費)を削減できますか	B	A 余地なし B 当面は余地なし C 一部余地あり D かなり余地あり	C・Dの場合、その具体的な内容をお書きください
公平性	8. 受益者負担は適切ですか	B	A 検討の余地なし B 当面検討の余地なし C 一部検討の余地あり D かなり検討の余地あり	C・Dの場合、その具体的な内容をお書きください
その他	9. 民間企業・住民団体との協働の可能性	C	A すでに実施している B 可能 C 困難 D 検討中	A・Bの場合、その具体的な内容をお書きください

(7) 改革改善 [Action]

今後の方向性(上記評価結果をもとに今後の方向性を記入します。) を一つチェックしてください。

- ア. 現状のまま継続する イ. 見直しのうえで継続する ウ. 終期設定 エ. 廃止 オ. 休止

〈今後の展開方針〉(イを選択した場合のみを一つチェックしてください)

- a 重点化する(コストを集中的に投入する等)
- b やり方を改善する(実施主体や実施の手段を変える)
- c 効率化を図る(コストを下げる)
- d 縮小する(簡素化する)
- e その他(別事務事業に統合する等)

(ウ・エ・オを選択した場合のみ記入してください)

時期(年度)

事業の方向性の具体化

(誰が、何を、いつまでに、どうするか(5W1H)等の改革改善案を記入します。)	26年度予算見積書への反映 <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
医療費通知・ジェネリック医薬品差額通知を引き続き実施。また、柔道整復師の施術に関する患者調査をその都度実施する。広報により周知を図る。	[反映内容] 保険給付費・保健事業費

(8) 第五次総合計画における事務事業の達成度(H25年度末現在)

B	A(4) 計画の目標を達成した。または、計画の目標をほぼ達成し、今後は継続していく。 B(3) 計画の目標達成に向け、順調に推移している。または、一部改善の後、事業を継続する。 C(2) 計画に取り組み始めたばかりである。または、事業の内容について検討をする必要がある。 D(1) 計画の実施には着手できなかった。 ※具体的な実施内容をお書きください
	H24医療費総額より約3,400万円減少

(9) 所属長 所見 (事務事業の総合評価及び今後の方向性について)

(評価事務事業の責任者の意見として、総合的な評価に関する所見を記入します。)	上位の施策の推進に貢献していますか。 <input type="checkbox"/> をチェック
医療費通知・ジェネリック医薬品差額通知は、医療費抑制の効果が期待でき、引き続き啓発方法の一つとして実施していくことが望ましい。また、広報活動をはじめ、住民に理解していただける方法を、さらに検討していく必要がある。	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献度 大 <input type="checkbox"/> D. 上位施策なし <input type="checkbox"/> B. 貢献度 中 <input type="checkbox"/> C. 貢献度 小

(今後の方向性 を一つチェックしてください。)

- ア. 現状維持 イ. 見直しのうえで継続する ウ. 終期設定 エ. 廃止 オ. 休止

上記 a~e を選択